



01. ウミガメが上陸した跡がないか確認する保護監視員ら。02. 清掃活動の様子。

6、7月の毎週土曜日には一般参加者も募集 ウミガメパトロールを開始

町から委嘱を受け、井田海岸などに上陸するアカウミガメの保護活動を行っている紀宝町ウミガメ保護監視員の6人（萩野進也さん、木村一樹さん、西昌志さん、前地敏久さん、杉浦利也さん、前地正喜さん）と地域おこし協力隊の伊藤柊也さんは6月1日、ウミガメの上陸や産卵を確認し保護するため毎年6月から7月にかけて行っているウミガメパトロールを開始しました。初日となる今回は通常のパトロールに加え、浜の距離を測る定点観測を行いました。

また、パトロール開始に先立って、ウミガメ保護監視員らと吉野熊野国立公園管理事務所職員、ウミガメ公園職員、役場職員が協力しウミガメの産卵シーズンを迎える井田海岸の清掃活動を行いました。

Town topics
6 / 1



01. 大烏帽子山に向かう生徒たち。02. 火おこし体験。03. 竹とんぼを飛ばす生徒。04. 栗須館長の説明を聞く生徒たち。



Town topics
6 / 4



活動を通して自分や仲間のよさを知る 矢淵中学校が校外学習を行う

矢淵中学校の1年生は6月4日、ふるさと資料館と大烏帽子山で、校外学習を行いました。

これは、さまざまな活動を通して、自分のよさや仲間のよさを知り、仲間と協力しあうことの大切さを学ぶことを目的として行われたものです。

1年生74人は、神内神社から、ふるさと資料館まで歩いた後、3組に分かれ、大烏帽子山を登山する組やふるさと資料館で、火おこし体験やバターナイフづくり、竹とんぼ遊びを行う組に分かれ、3密を避けて登山や体験学習を行いました。

生徒たちは、栗須館長の説明を受けながら、火おこし体験やバターナイフづくりに協力して取り組み、絆を深めていました。

やさしさと思いやりを持った子どもに

井田小が人権の花運動指定校に

井田小学校は今年度の「人権の花」運動指定校に選ばれ、6月11日、同校で委嘱式が行われました。

この運動は、子どもたちが協力して花を育てることにより、生命の尊さを実感するとともに、豊かな心を育み、やさしさと思いやりを体得することを目的としています。

委嘱式では、児童会長の内野瑛太くんと園芸委員9人が出席し、町人権擁護委員の内野映児さんが内野会長に委嘱状を手渡しました。

井田小学校の石谷校長は「花づくりを通して、人権についても考えられる心豊かな子どもに育ってほしい」と話していました。

Town topics
6 / 11



委嘱状を受け取る内野会長

核兵器のない平和な世界のために

国民平和大行進が行われる

原水爆禁止日本協議会は6月8日、町役場前において「国民平和大行進 2020」の三重県コースの出発式を行いました。

これは、核兵器廃絶を訴えながら被爆地広島・長崎を目指す取り組みで、例年は行進しながら全都道府県を巡りますが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、宣伝カーで各自治体を回り核兵器廃絶を訴えます。

三重県協議会の西尾理事長は「今年は被爆75年を迎え、核兵器の全廃を達成したいという被爆者の願いをかなえる最後のチャンス」と話していました。

Town topics
6 / 8



国民平和大行進に取り組む参加者

三重県町村会役員選挙において

西田町長が県町村会の新会長に

西田健町長は6月4日、県町村会の役員選挙の結果、県町村会の会長に就任しました。

県町村会は、県内15町で構成され、各町との緊密な連携のもと、町行政事務の円滑な運営と地方自治の振興発展を図ることを目的として各事業活動を行っており、西田町長はこれまで約10年間、副会長を務めていました。

会長に就任した西田町長は「今後も15町しっかり連携し、ご指導ご意見いただく中で元気なまちづくりを進めていきたい」と話していました。

Town topics
6 / 4



職員から花束を受け取る西田町長